

パパとママは写専映像学科の同級生。
クラスで最初に出会ったときからママの胸はキュ〜ン。
卒業しても、TV番組の会社に入っても、アフリカに
行っても想うことはパパのことばかり。
二十年間のお付き合いの末にゴールイン。
一人息子は『真の助』コレがヤンチャ坊主。
森田 真佐男 × 加奈子 × 真の助

UP! SPECIAL HAPPY is FAMILY vol.17

UP! SPECIAL
HAPPY is
FAMILY

ひとつだけママに注文です。
瓶のふたは締めて、残り物はラップで包みましょう。



彼女はフタをよく忘れるんですよ。冷蔵庫の瓶モノはほとんどフタが閉まっています。残ったごはんもラップをしなからカピカピ状態。気をつけて欲しいです (笑)

「わたしは女子校だったんで写専に入ったら男子が眩しくて!」と加奈子さん(38)。「そんな男子の中でも森田くんが一番背が高くイケメンでした」(笑)。「何かに付け彼のそばに近づこうといつも考えていましたよ」(爆笑)。「そんな彼女の涙ぐましい努力に森田真佐男さん(38)は気づかなかったようです。「全然知りませんでした。ちょっとおもしろい人だな」としか。ボクは映画製作に興味があって、映画以外は眼に入りませんでした」「わたしも映画に魅力を感じていたわ。でもそれ以上に森田くん」(笑) 凄まじいほどの迫力である。

映像界で働く加奈子さんの映画のようなドラマチックなシーンである。関西空港から飛び立つアフリカ行き飛行機の中で彼女は彼の素直な愛情と感謝の気持ちで涙が流れたと言う。やがて彼女は帰国。そして結婚。2年後に長男、真の助くん(1)が誕生する。家族は3人で料理は真佐男さんの方がうまいらしい。「真の助がヤンチャで眼が離せないんですよ」と笑いながら言い訳をする加奈子さん。

映像学科の在校生になにかひと言アドバイスをと求めると「やりたいことはすぐにでもやって下さい。諦めないで。そして続けて下さい。最後はきつと、いい答えが出来ますから」彼女が言うと言葉がある。「夢とは見続けること。続けること。後悔しないこと」動き回る1歳になる子どもの手を握りしめながら言う。その言葉は愛する夫、真佐男さんと長男の真の助くんに投げている言葉だったのかもしれない。(は)